



2020年10月6日

各位

会社名 三協立山株式会社
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 平能 正三
 (コード番号 5932 東証第一部)
 問合せ先 広報・IR部長 原田 得治
 (TEL 0766-20-2332)

業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年7月9日に公表いたしました『2020年5月期決算短信〔日本基準〕(連結)』において未定としておりましたが2021年5月期(2020年6月1日~2021年5月31日)の連結業績予想および配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2021年5月期第2四半期(累計)連結業績予想(2020年6月1日~2020年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	140,000	300	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年5月期第2四半期)	161,996	2,975	2,931	1,103	35.16

(2) 2021年5月期通期連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	289,000	300	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年5月期)	313,691	2,015	1,611	△1,533	△48.89

(3) 連結業績予想の公表理由

2021年5月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大収束時期や影響の程度など、先行きの不透明感が強く、その具体的な影響額を合理的に見積もることが困難であることから未定としておりました。このたび、新型コロナウイルス感染症の影響について、足元で国内外の経済活動が段階的に再開され始めているものの、景気は緩やかな回復ペースにとどまり前年度を下回る水準になるものと見通し、現時点で入手可能な情報や予測に基づいて売上高および営業利益の予想を算定しましたので公表いたします。

また、当社事業に関わる国内外の市場につきましては、昨年の消費税増税以降、新設住宅着工戸数や店舗建築着工棟数の前年度比減少が継続していること、米中貿易摩擦の影響によりアルミニウム押出型材の需要減少が継続していること、国内外の自動車販売台数の前年割れが継続していることなどから、それぞれの市場の回復には時間を要するものと想定しております。

なお現在、各種収益改善施策、欧州事業の改革などを推進しており、これらに関連する費用等を含めた、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の連結業績予想は第2四半期決算発表時に公表を予定しております。

2. 配当予想

(1) 2021年5月期の配当予想

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回発表予想	0.00	—	—
前期実績 (2020年5月期)	10.00	5.00	15.00

(2) 配当予想の公表理由

当社は、業績状況や内部留保の充実などを勘案したうえで、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。

この方針の下、このたび、現時点で入手可能な情報や予測に基づき、第2四半期累計期間および通期の売上高および営業利益の予想を公表いたしましたが、第2四半期累計期間において前期比で業績低下が見込まれること、また現時点で当期末までの親会社株主に帰属する当期純利益が未公表の段階であるため、2021年5月期の中間配当につきましては、誠に遺憾ではありますが、その実施を見送ることとさせていただきます。

(注) 上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上